公立高校入試情報　福岡県

【数学】

令和7年度福岡県入試の全体傾向

○大問数は例年どおり６問，小問数は昨年より２問増えて27問。
○大問１は各領域からの基本問題，大問２はデータの活用と箱ひげ図，
　大問３は方程式の利用(会話形式)，大問４は関数の利用，大問５は
　証明を含む平面図形の総合問題，大問６は三平方の定理と空間図形の問題。
○大問２では，３つの累積相対度数を計算して比較する問題が出た。
　示されたデータを的確に読み取り処理する能力が求められる。
○例年，グラフをかく問題，解法の過程を書く問題や説明，図形の証明など，
　記述形式の問題が出題されているので，対策が必要である。

■　証明問題の出題

・例年どおり，図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため，記述式の証明問題への対策が必要である。

■　三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので，対策が必要である。

★福岡県入試出題内容別・形式別傾向分析（過去4年間）

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式		●		
		方程式		●		●
		比例と反比例	●	●	●	●
		平面図形			●	
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式				
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●		●
		三角形			●	
		平行四辺形				
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図	●	●	●	●
	3年内容	式の計算	●		●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数$y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査	●	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6
	小問数		22	24	25	27
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	2		1	1
		立式・解法の過程の記述		1	1	
		作図(図形)				
		作図(グラフ)	1	1	1	1